

ヘッジファンド概況（2020年6月）

2020年7月

 資産運用研究所
 野澤 光希

当月（2020年6月）のヘッジファンドの資金動向やパフォーマンス概況は、以下のとおりである。（データの出所はユーリカヘッジ。資金動向はユーリカヘッジのデータベースのうち2020年7月15日時点で報告があった52.81%のファンドに基づく推計値であり、パフォーマンスは7月27日時点で取得したヘッジファンド・インデックスより作成。）

1. ヘッジファンドの資金動向

～当月の運用残高は、3カ月ぶりの減少～

当月のヘッジファンド全体の運用損益は22億ドルの運用益、純流出入額は66億ドルの純流出となり、当期末の運用残高は43億ドル減の2兆1,046億ドルであった（図表1）。

戦略別にみると、純流出入額は9戦略（その他を除く）のうち5戦略でマイナスとなった（図表2,3）。最も純流出入額のマイナスが大きかったのはマルチ・ストラテジーで49億ドルのマイナスであった。投資地域別でみると、欧州を除く全地域で純流出となった（図表4,5）。また、運用損益、運用残高の増減は北米を除く全地域でプラスとなっている。

2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

～当月のリターンは、9戦略のうち8戦略がプラス～

ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスの直近1年間の戦略別パフォーマンス概況は以下のとおりである（図表6,7,8）。（インデックスの概要は巻末Appendixを参照）

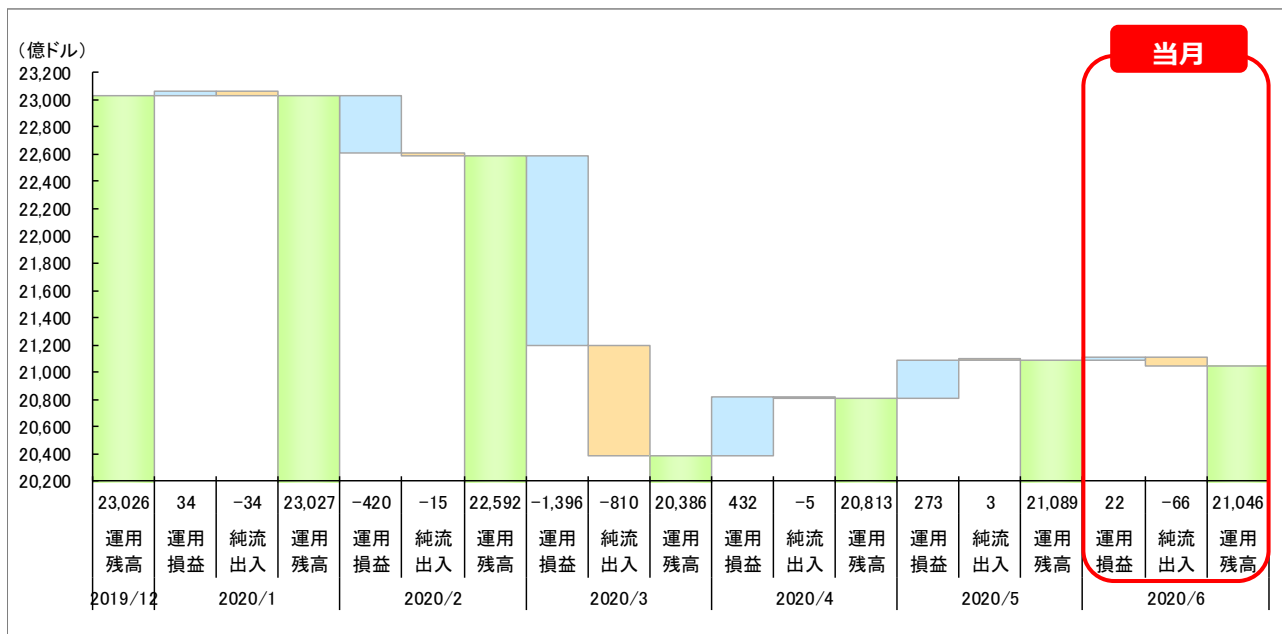
当月のユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスのリターンは+1.77%と、3カ月連続でプラスとなった。戦略別にみると、当月のリターンは、9戦略のうちマネージドフューチャーズを除く8戦略がプラスとなった。最もプラスが大きかったのは株式ロング・ショートとの+2.84%で、次いでマルチ・ストラテジーの+2.02%、債券アービトラージの+1.98%であった。直近1年間のリターンで見ると、9戦略のうち6戦略がプラスであり、最もプラスが大きかったのはマクロの+3.30%で、次いでアービトラージの+3.09%、株式ロング・ショートとの+2.93%であった。一方、直近1年間のリターンがマイナスとなった3戦略のうち、最もマイナスが大きかったのはイベント・ドリブンの-5.29%であった。

※この戦略別リターンに使用している指数は、単純平均で計算されているので、図表2の運用損益の符号と一致しないことがある。

1. ヘッジファンドの資金動向

図表 1 ヘッジファンド全体の資金動向

※グラフの見方：左から順に「前月末の運用残高」「該当月の運用損益」「該当月の純流出入」、左記3点を合計した「該当月末の運用残高」が並んでいる



(参考) ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスのリターン (%)

2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6
0.11	-1.87	-6.50	3.95	2.04	1.77

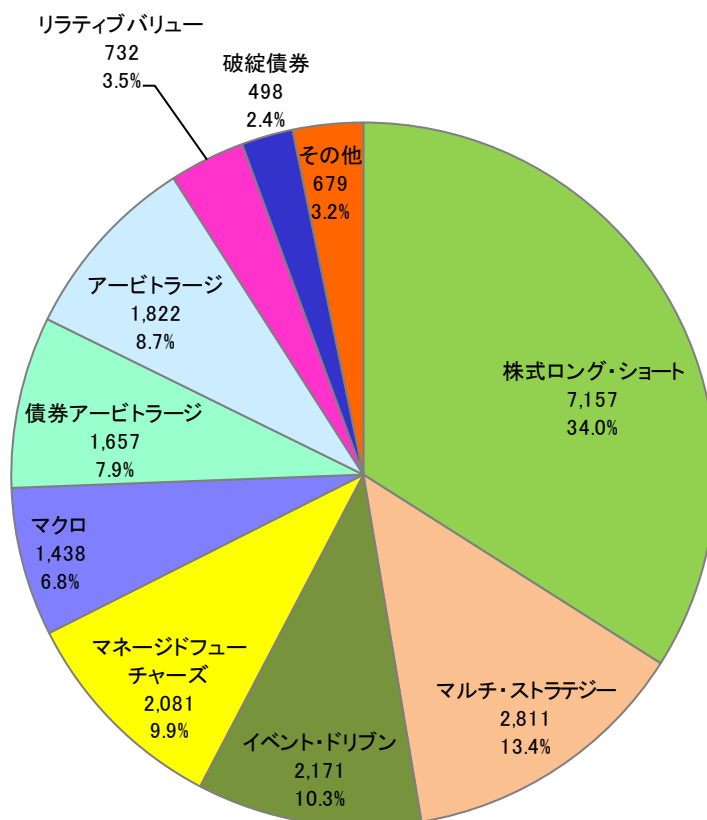
※ 当インデックスは単純平均で算出されている。

図表2 ヘッジファンドの戦略別資金動向

(億ドル)

投資戦略	6月末 運用残高 a + b + c	6月末 構成比	5月末 運用残高 a	6月中 運用損益 b	6月中 純流出入 c	運用損益+ 純流出入 b + c
株式ロング・ショート	7,157	34.0%	7,184	4	-31	-27
マルチ・ストラテジー	2,811	13.4%	2,864	-5	-49	-53
イベント・ドリブン	2,171	10.3%	2,172	9	-10	-1
マネージドフューチャーズ	2,081	9.9%	2,073	-13	20	7
マクロ	1,438	6.8%	1,434	9	-4	4
債券アービトラージ	1,657	7.9%	1,644	8	5	13
アービトラージ	1,822	8.7%	1,812	6	5	11
リラティブバリュー	732	3.5%	727	3	1	5
破綻債券	498	2.4%	497	1	-0	1
その他	679	3.2%	681	1	-3	-2
全体	21,046	100.0%	21,089	22	-66	-43

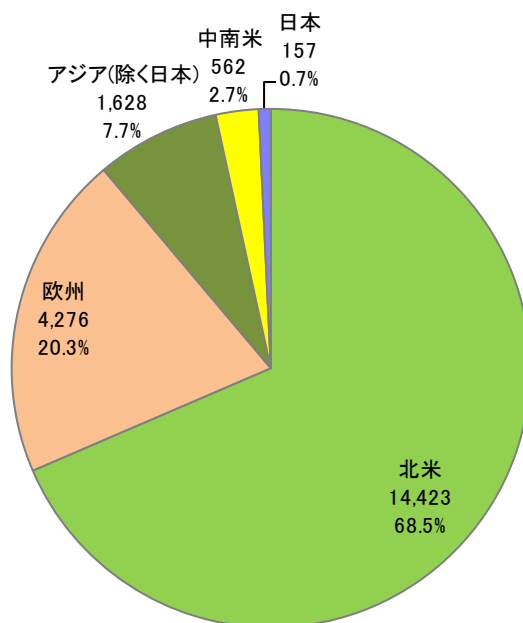
図表3 運用残高の戦略別構成比 (2020年6月末)



図表4 ヘッジファンドの投資地域別の資金動向

投資地域	(億ドル)					
	6月末 運用残高	6月末 構成比	5月末 運用残高	6月中 運用損益	6月中 純流出入	運用損益+ 純流出入
	a + b + c		a	b	c	b + c
北米	14,423	68.5%	14,514	-30	-61	-91
欧州	4,276	20.3%	4,258	17	1	18
アジア(除く日本)	1,628	7.7%	1,603	29	-4	25
中南米	562	2.7%	557	6	-1	4
日本	157	0.7%	157	0	-0	0
全体	21,046	100.0%	21,089	22	-66	-43

図表5 運用残高の投資地域別構成比 (2020年6月末)



2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

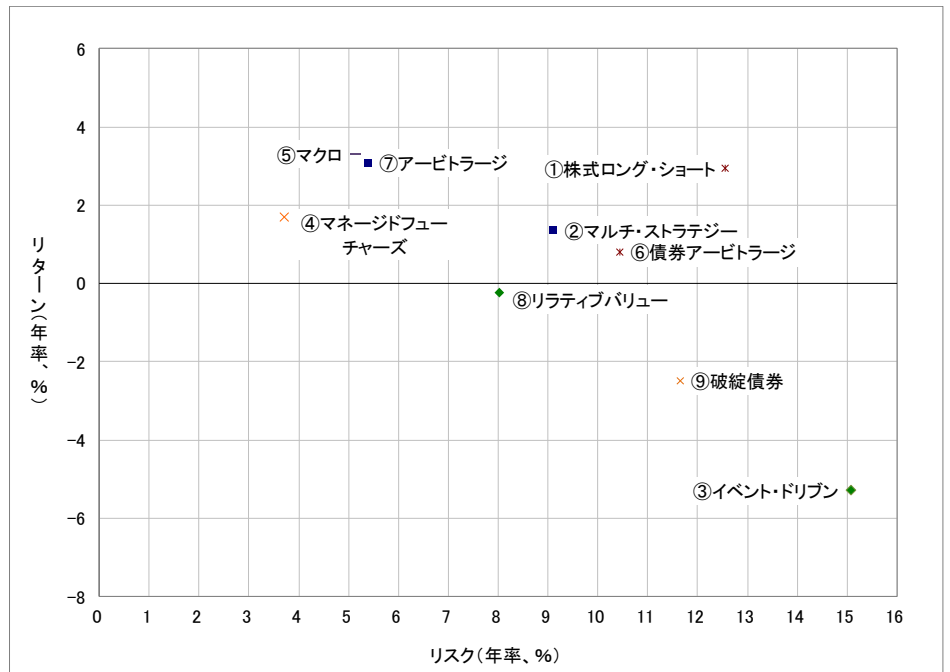
図表6 直近1年間の月次リターンの推移

戦略													(%)	
	2019 /7	2019 /8	2019 /9	2019 /10	2019 /11	2019 /12	2020 /1	2020 /2	2020 /3	2020 /4	2020 /5	2020 /6	直近1年間 リターン	リスク
① 株式ロング・ショート	0.45	-1.13	0.17	1.14	1.39	1.99	-0.35	-2.81	-8.80	6.01	2.73	2.84	2.93	12.56
② マルチ・ストラテジー	0.68	-0.77	0.25	0.31	0.54	1.58	0.43	-1.98	-6.79	3.98	1.48	2.02	1.36	9.11
③ イベント・ドリブン	0.13	-1.70	0.27	-0.16	1.00	1.75	-0.63	-3.03	-12.19	5.97	2.39	1.88	-5.29	15.08
④ マネージド・フューチャーズ	1.19	2.00	-1.82	-1.11	0.42	0.86	0.43	-0.81	0.97	0.17	0.00	-0.53	1.71	3.72
⑤ マクロ	0.33	1.41	-0.52	-0.06	-0.34	1.00	0.01	-0.67	-3.20	2.42	2.02	0.98	3.30	5.13
⑥ 債券アービトラージ	0.59	-0.24	0.56	0.48	0.34	1.06	0.74	-0.53	-8.92	2.50	2.77	1.98	0.80	10.45
⑦ アービトラージ	0.65	-0.05	0.16	0.52	0.70	0.72	0.50	-0.60	-3.99	2.76	0.94	0.88	3.09	5.39
⑧ リラティブバリュー	0.17	-1.80	0.42	-0.06	1.21	1.01	-0.12	-3.21	-4.75	3.54	2.57	1.11	-0.22	8.03
⑨ 破綻債券	-0.16	-1.37	0.10	-0.15	0.32	1.70	0.56	-0.39	-9.93	3.77	1.90	1.77	-2.50	11.66
⑩ TOPIX(配当込)	0.91	-3.37	6.04	4.99	1.94	1.45	-2.14	-10.27	-5.99	4.35	6.82	-0.19	3.10	17.76

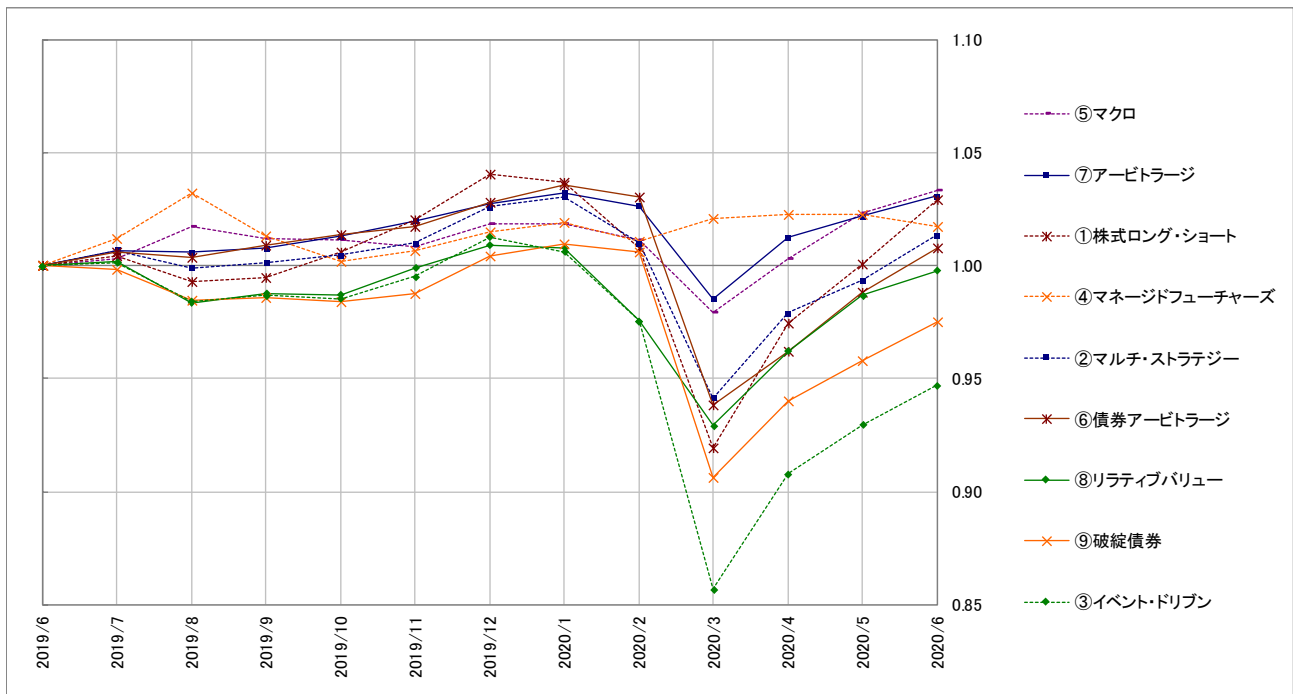
図表7 直近1年間のリターン・リスク (2020年6月末)

戦略	リターン (%)		リスク (%)		リターン/リスク比	
	値	順位	値	順位	値	順位
①株式ロング・ショート	2.93	3	12.56	0.23	4	
②マルチ・ストラテジー	1.36	5	9.11	0.15	5	
③イベント・ドリブン	-5.29	9	15.08	-0.35	9	
④マネージドフューチャーズ	1.71	4	3.72	0.46	3	
⑤マクロ	3.30	1	5.13	0.64	1	
⑥債券アービトラージ	0.80	6	10.45	0.08	6	
⑦アービトラージ	3.09	2	5.39	0.57	2	
⑧リラティブバリュー	-0.22	7	8.03	-0.03	7	
⑨破綻債券	-2.50	8	11.66	-0.21	8	

(分析期間) 2019年7月~2020年6月の月次リターンデータ



図表8 直近1年間の指数の推移 (2019年6月末 = 1.0)



※ 図表1~5,7,8はユーリカヘッジより日興リサーチセンター作成
 ※ 図表6はユーリカヘッジ、リフィニティブより日興リサーチセンター作成
 ※ 分析には2019年7月~2020年6月の月次リターンデータを使用

Appendix

- ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックス (Eurekahedge Hedge Fund Indices) は、ユーリカヘッジが保有するヘッジファンド・データベースのファンドを組入れている。
- この指数には 10 本の戦略別サブインデックスがあり、各戦略の概要は以下のとおりである。

アービトラージ (Arbitrage)

異なる市場において、同一商品の価格が異なるという市場の非効率性を利用し利益を上げる戦略。

マネージドフューチャーズ (CTA / Managed Futures)

商品先物、オプション、先物為替取引に直接または商品投資顧問業者を仲介し投資する戦略。

破綻債券 (Distressed Debt)

財務、もしくは経営面で困難に陥った企業の債券に投資し、その後の企業の信用力回復に伴う債券価格の上昇から利益を上げる戦略。

イベント・ドリブン (Event Driven)

近い将来に予想される、もしくは起きる可能性のある企業の合併、公募増資、買収などのイベントを利用した戦略。

債券アービトラージ (Fixed Income)

フィックス・インカム証券とそのデリバティブ商品においてロングとショートのポジションを組み合わせる戦略。

株式ロング・ショート (Long / Short Equities)

価格が上がる見込みの株式をロングし、逆に下がりそうな株式をショートし、相場のトレンドに左右されずに利益を上げる戦略。

マクロ (Macro)

トップダウン型のマクロ的な視野 (金利や通貨など) に基づいて投資ポジションを取る戦略。

マルチ・ストラテジー (Multi-Strategy)

複数の投資戦略を組み合わせた戦略。

リラティブバリュー (Relative Value)

アセット間のミスプライスを利用し、低リスクで収益を追求する戦略。

その他 (Others)

他のヘッジファンド戦略で使用されている多様な投資機会にアロケーションを行う戦略。

《以下にユーリカヘッジの免責事項を引用する》

Eurekahedge(“ユーリカヘッジ”)のデータは、各運用機関及び外部の情報を元に作成しております。ユーリカヘッジ及びその関係者は情報の正確性、完全性、市場性、仮定、計算などについて保証を行っておりません。情報の閲覧・利用者は、データの使用に際して、情報における全てのリスクを認識し、負う必要があります。ユーリカヘッジではデータ及び情報に基づくいかなる理由の損害に関しても責任を負いかねます。データは、特定のファンド、有価証券、または金融商品、企業への投資に関する勧誘或いは販売勧誘を構成するものではなく、また、金融機関や専門家としての助言として解釈されるべきではありません。Copyright © 2011 Eurekahedge Pte Ltd